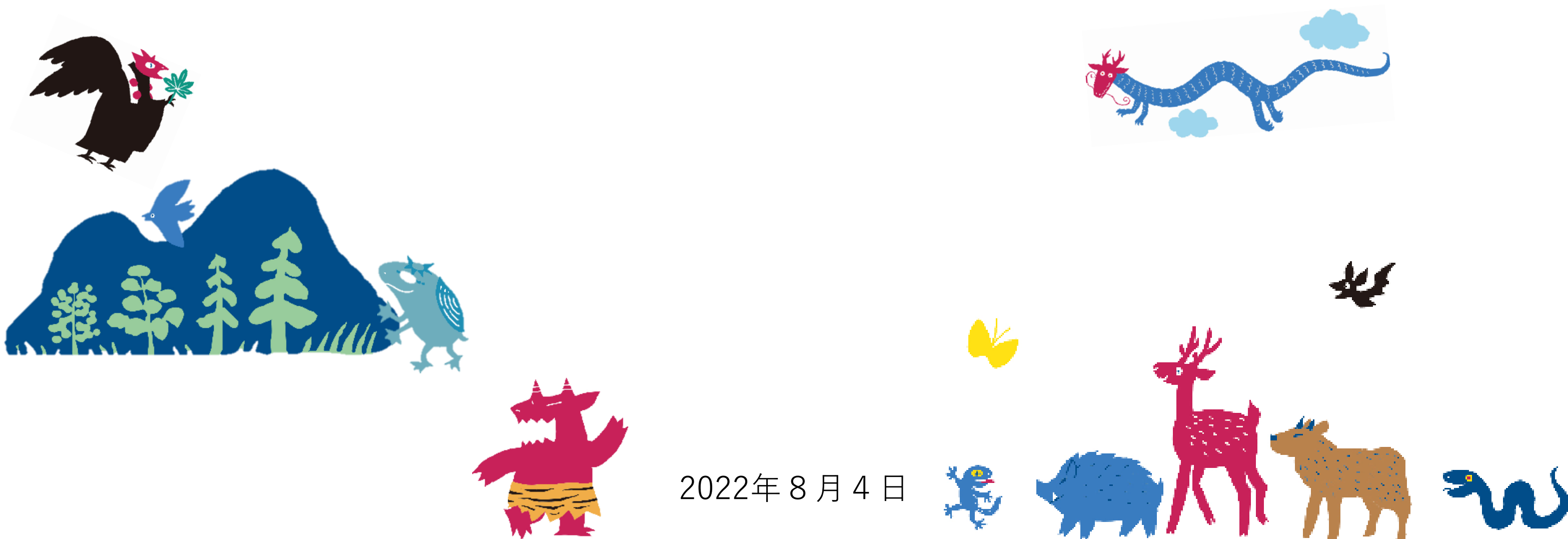


地域の未来・志援センター 2022年度事業計画



2022年8月4日

〒461-0002

愛知県名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5階
中部リサイクル運動市民の会内
TEL : 052-936-3213 E-mail : office@c-mirai.org,

目次

<u>1. 事業期間と基本方針</u>	P3
<u>2. 2022年度事業計画（案）</u>	P4
●中間支援機能の見える化	
①「小さな役場」づくり： 丹生川地区曼荼羅づくり	P5
②人材育成	P6～
③伴走支援	P8～
●資金調達	
④今、ここにいない人へのアプローチ	P12
⑤補助金や助成金（資金調達）に強くなるための調査・実践	P13
●情報発信	
⑥メールニュースの発行、ウェブサイトの更新	P14
●2022年度事業スケジュール	P15
<u>3. 運営体制</u>	P16

1. 事業期間と基本方針

事業期間：2022年6月1日～2023年5月31日

基本方針：めざすもの

1. 広域での交流（つながる・混ざる活動）が、当団体専従スタッフがいなくても続けられるあり方を探る
2. 2023年度以降、意味あるネットワークが維持でき、生きた交流を続けるための資金獲得をめざす
3. 2の資金調達のツールとして、また、団体17年の活動成果として、環境中間支援の機能・役割をわかりやすく伝えるツールをつくる

2. 2022年度事業計画

●中間支援機能の見える化

- ①小さな役場づくり：丹生川地区曼荼羅づくり『地域資源ヒアリング調査』
- ②人材育成：
 - 1、中部流域連携ネットワーク・天竜川流域交流会サポート（未来創造プログラム）
 - 1）中部流域連携ネットワーク支援
 - 2）22世紀奈佐の浜PJ学生部会・OBOGネットワーク
 - ：2、ローカルSDGsリーダー養成講座
 - 3）ローカルSDGsリーダー養成講座「共通講義」づくり
 - 4）ローカルSDGsリーダーの働き方ヒアリング
 - ：3、多文化共生担い手発掘事業
 - ：4、NPOセンタースタッフ交流会
- ③伴走支援：
 - 1、森と子ども未来会議 伴走支援 with 矢作川流域圏懇談会
 - 1）法人化コンセプトづくり
 - 2）森とまちをつなぐESD
 - 3）学生 根羽村合宿&矢作川流域ツアーコーディネート
 - ：2、各地域の取り組み
 - 4）三重県北勢地域
 - 5）愛知県渥美半島
 - 6）岐阜県西濃地域

●資金調達

- ④今、ここにいない人へのアプローチ／ツールづくり&パッケージづくり
- ⑤補助金や助成金（資金調達）に強くなるための調査・実践／ローカルESG勉強会

●情報発信

- ⑥メールニュースの発行、ウェブサイトの更新

●中間支援機能の見える化

①「小さな役場」づくり

地域の将来を描く場となり、
行政とパートナーシップを組む母体となり、
地域を自立・分散型に変える経験や
ノウハウを蓄積して人材育成の場ともなる
新たな中間支援組織の在り方を考える。



丹生川地区曼荼羅づくり「地域資源ヒアリング調査」

調査地域：高山市丹生川地区日影・板殿／まちづくりスポット、泉京・垂井協働事業
■後継者《30～50代》の9割が住み続ける地域において、その原因を探るヒアリング

	21年度 第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
日にち	2022/4/29～30	2022/10月頃	2022/11月頃	2022/12月頃	2023/1～3月
場所	高山市丹生川日影地区と板殿地区	西濃地域 (揖斐川町春日地区美束)	高山市丹生川日影地区と板殿地区	高山市丹生川地区	高山市丹生川板殿公民館 シャレー中西 (予定)
訪問者	竹内・三ツ松・河合 鉄井・神田 (泉京・垂井)	竹内・三ツ松・河合 鉄井・神田 (泉京・垂井)	竹内・三ツ松・河合 鉄井・神田 (泉京・垂井)	竹内・三ツ松・河合 鉄井・神田 (泉京・垂井)	竹内・三ツ松・河合 鉄井・神田 (泉京・垂井)
内容	*新自治会長への挨拶 *追加ヒアリング：福祉村、水利、消防団、祭りについて(地域資源マップver.1紹介)	類似地区ヒアリング比較調査 西濃の類似地区事例 (地理的条件・集落規模等が近い地域)	曼荼羅づくりワークショップ	*まちづくり協議会との関係づくり *比較調査結果報告。地域間交流の可能性を探る	『地域資源マップver.2』お披露目 & ヒアリング

●中間支援機能の見える化

②人材育成

22世紀奈佐の浜PJ & 中部流域連携ネットワークと混ざりあいながら活動してきた『未来創造プログラム』＝「流域思考・ESD活動」をOBOGのネットワークづくりを軸に据えて展開する。



②-1 中部流域連携ネットワーク・天竜川流域交流会サポート（未来創造プログラム）

1) 中部流域連携ネットワーク 南信州・天竜川流域交流会開催支援

- 関係各所まわり
- 全国いい川いい川づくりWS@東京（2022/9/2~4）への学生参加呼びかけ
- いい川いい川づくりWS in 中部@天竜川上流域（2022/11予定）

2) 22世紀奈佐の浜PJ学生部会・OBOGのネットワークづくり

- 22世紀奈佐の浜PJ／高山林業合宿（2022/7/8~9）
→学生部会が仲間を増やすツールに
- 22世紀奈佐の浜PJ／答志島合宿（2022/10/8~9）
→学生部会が仲間を増やすツールに

●中間支援機能の見える化

②人材育成

②-2 ローカルSDGsリーダー養成講座

1) ローカルSDGsリーダー養成講座「共通講義」づくり

エコネット近畿と協働でローカルSDGsリーダー養成講座の全受講者が各コースを受ける前に受講する『共通講義』を企画し、以下3講義の収録を行う。

「なぜ、地域にコーディネーター、プロデュースできる人が必要なのか？」

「社会（地域）の持続可能性が不安視される理由」

「地域経済循環の再構築」

2) ローカルSDGsリーダーの働き方ヒアリング

実際に活躍しているローカルSDGsリーダーに対して働き方に関するヒアリングを実施。

ローカルSDGsリーダーの新しい働き方を探る

②-3 多文化共生担い手発掘事業

名古屋NGOセンター、東海市民社会ネットワーク加盟団体として、東海地域にある多文化共生に取り組む有志や団体とともに、多文化共生に取り組む人材の発掘、育成に取り組む。

（JICA中部との協働事業）。

②-4 NPOセンタースタッフ交流会

地域の自治力向上を担うNPOセンタースタッフのスキルアップを支援するため、日頃の業務に役立つ情報交換や経験交流を行うための勉強会兼交流会『東海地区市民活動センタースタッフ交流会』を開催。



●中間支援機能の見える化

③伴走支援

③-1 森と子ども未来会議伴走支援 with 矢作川流域圏懇談会

1) 法人化コンセプトづくり

★木造化を目指す保育所の資金調達を行うために

- ・どんな法人形態（組織形態）が良いのか？
- ・ステークホルダーとの関係性を配慮し、運営資金をどのように調達するのか？
- ・運営体制

★同会の本質（と思われる）FEC自給圏的・住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりを進める活動（森とまちをつなぐ活動）を進展させるには？

- ・上の法人がそれを担うのか？
- ・矢作川流域圏懇談会会員の4森林組合と意見交換

■以上のような「話し合う場づくり」と「議事進行」をサポート。



●中間支援機能の見える化

③伴走支援

③-1 森と子ども未来会議伴走支援 with 矢作川流域圏懇談会

2) 森とまちをつなぐESD

同会の本質（と思われる）FEC自給圏的・住民自治を
基盤とした持続可能な地域づくりを進める活動

（森とまちをつなぐ）をブラッシュアップしていく
→コンセプト作りに役立てる

■教育関係協力者探し

■額田木の駅勉強会（天竜川流域の活動に学ぶ：6月2日実施）

■学童保育所木造化勉強会 第3弾



●中間支援機能の見える化

③伴走支援

③-1 森と子ども未来会議伴走支援 with 矢作川流域圏懇談会

3) 矢作川流域圏懇談会・山部会／ミライ会議との協働

流域ESD思考での「つなぐ・混ざる」活動

■担い手事例集作成活動への参画

■「根羽村林業合宿」第2弾（2022/8/18~19）

（人間環境大学、名城大学・木造建築研究会に呼びかけ）

■矢作川流域まるごとツアーへの（2022/9/2、9/9）

学生参加呼びかけ



●中間支援機能の見える化

③伴走支援

③-2 各地域の取り組み

4) 三重県北勢地域

秋ごろに情報交流会を開催。運営に携わる。

情報交流会に合わせて企業向け研修やエコ体験ツアーのパイロット版実施

5) 愛知県渥美半島

地域のお年寄りへのヒアリング活動継続を検討

企業向け研修やエコ体験ツアー（パッケージ）の展開

6) 岐阜県西濃地域

10/8、9 きれいな水と命を守る全国集会 & 10/10 アースデイいびがわ

「きれいな水と命を守る全国集会」実行委員として

西濃環境NPOネットワークと共に参画



●資金調達

④今、ここにいない人へのアプローチ

中間支援の機能・役割を企業や市民活動を知らない人々に伝えるツール（パンフレット）をつくる。同時に企業等へSDGs・社会貢献活動に社員が参加する機会を提供するパッケージ提案を関連団体と共に行い、それを活用して資金調達活動を行う。



1) ツールづくり（企業営業向けパンフレット）

- 7月から企業回りを行い、改訂を重ねる。エコ体験ツアー・マイクロツーリズムを視野に入れ、旅行代理店等への協働も呼びかける。
- 設立以来17年の足跡を示すことも併せて考える
- 企業人に環境活動目線のSDGsを解説する紙芝居的ツールを創る。

2) パイロット版パッケージづくり

- 北勢地域情報交流会を秋頃を開催。それに併せ、北勢地域の各種活動に企業が参画できるパッケージづくりをめざし
 - ① 関係者と話し合う場づくり
 - ② パッケージ化のためのまとめ作業を行う
- 北勢地域版をもとに、矢作川流域・三遠南信地域のパッケージづくりに取り組む



●資金調達

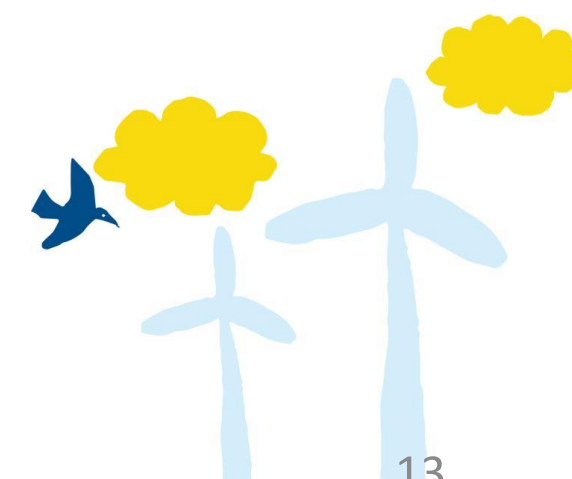
⑤補助金や助成金（資金調達）に強くなるための調査・実践

1) ローカルESG勉強会

- エコネット近畿、コミュニティユースバンクmomo等とともに、多様な資金調達を行うための研究会を実施。
- 助成財団サミット 関西広域連合セミナーへの参加・協力

2) 実践

- 森と子ども未来会議伴走支援に絡めたり、森とまちをつなぐ広域ネットワーク活動を継続するための補助金や助成金を調査。支援依頼のため、財団などを回り資金調達を行う。



●情報発信

⑥メールニュースの発行、ウェブサイトの更新

ホームページ(HP)、メーリングリスト(ML)、Facebook(FB)などの媒体で、当法人及び関連団体のイベント情報や助成金情報などを発信する。

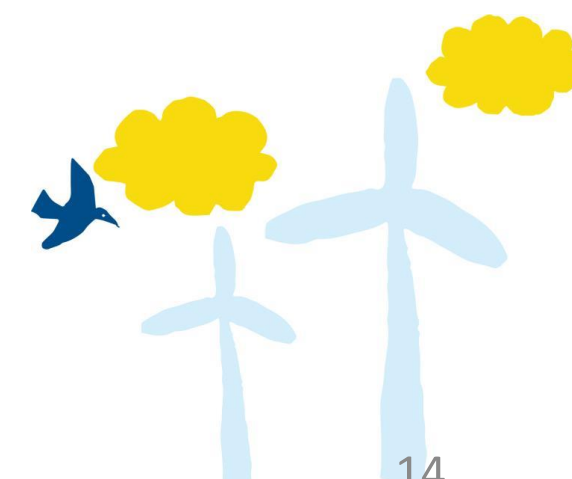
◆情報受発信 目標値

①FB「いいね」数1,000

②HP－助成金情報・イベント情報を月1回程度更新

③ML－月1回、登録数900件目標

* 広報支援の依頼が増加。ML登録数の増加を図る。



●2022年度事業スケジュール案

事業の柱		取り組み	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月		
中間支援機能の見える化	① 小さな 役場づくり	①-1 豊茶羅づくり 「丹生川地域資源ヒアリング調査」	ヒアリングなど	●第1回ヒアリング ※候補日4月29日 ～5月8日＜宿泊＞	●類似地区ヒアリング ※候補日5月or6月 諸家想定					●まちづくり協議会との関係づくり	●日影、板殿訪問		●報告書作成						
			マップ作製		●マップver.2(改訂版)へ向け案出し開始			●マップを用い、住民ワークショップ				●『地域資源マップver.2』製作/完成	●『地域資源マップver.2』お披露目 ※1月～3月						
	② 人材育成	②-1 中部流域連携ネットワーク サポート(南信州・天竜川流域交流会開催支援)	中部流域連携N.W.		●長野、天竜川関係者に面会		仮)関係各所周り	仮)関係各所周り			●9/3、4全国いい川WS@東京	仮)中部いい川WS							
			OBOGのネットワークづくり	●人間環境大学関係者と面談※4～5月あたり				事務局打合せ(3名)	奈佐の浜打合せ(3名)		●22世紀の奈佐の浜PJ ※マイクロバス(15名)+今井君、平野君等の車に乗りあっていく								
		②-2 ローカルSDGsリーダー講座をつくる	ローカルSDGsリーダー養成講座	●共通講座の準備、収録			●共通講座の完成												
			働き方ヒアリング					●ローカルSDGsリーダーヒアリング	●ローカルSDGsリーダーヒアリング	●ローカルSDGsリーダーヒアリング	●ローカルSDGsリーダーヒアリング	●ローカルSDGsリーダーヒアリング							
		②-3 多文化共生担い手発掘事業	多文化共生担い手発掘事業										関係者MTG				担い手発掘フォーラム		
		②-4 センタースタッフ交流会					打合せ(矢保町がウィルあいち)			●センタースタッフ交流会(小牧想定)		打合せ(江南)		●センタースタッフ交流会(西尾想定)					
	③ 伴走支援	③-1 森と子ども未来会議 伴走支援 with 矢作川流域圏懇談会	法人化コンセプトづくり					●法人化準備下打ち合わせ開始		●法人化MTG	●法人化MTG ●森林組合を招いての話	●法人化MTG ●森林組合を招いての話	●法人化MTG	●法人化MTG	●法人化MTG	●法人化MTG	●法人化MTG		
			森とまちをつなぐESD	仮)教育関係者協力者探し	仮)額木の駅勉強会				仮)木造化勉強会										次年度に向けての計画作成
			矢作川流域圏懇談会 山部会/ミライ会議	●人間環境大学関係者と面談※4～6月あたり 『ミライ会議』	ミライ会議 ●担い手事例集作成		*矢作川流域圏懇談会 『ミライ会議』	●根羽村訪問 ※大学が夏休み期間	●バスツアー×2回 ※学生4名×2日+事務局2日	*矢作川流域圏懇談会 『ミライ会議』		*矢作川流域圏懇談会 『ミライ会議』		*矢作川流域圏懇談会 『ミライ会議』		*矢作川流域圏懇談会 『ミライ会議』		総会準備	次年度に向けての計画作成
								学生6名+事務局2名 岐阜大付る古屋 1860円	豊田市駅想定 近隣基金にて学生交通費まかなう										
		③-2 各地域の取り組み	三重県(北勢地域)	●声掛け	●MTG				●情報交流会 ※8月or9月										
			愛知県(渥美半島)				●渥美半島 環境連絡協議会 パッケージ打合せに行く ※交通費は14事業						●聞き書き				●赤羽根塾・夜なべの会 ※14 企業回り打合せ兼ねる		
	資金調達	④ 中間支援の見える化 ツールづくりパッケージづくり	ツールづくり		●ツールづくり(企業)			●ブレ企業回り		●ツール(企業)改訂									
							●ツールづくり(効果の見える化)												
							●紙芝居づくり												
営業活動				●資金調達作戦会議(運営会議)					●資金調達実践会議	●企業回り		●財団回り							
パッケージづくり	●パイロット版パッケージづくり(いなべ)			●声掛け		●パイロット版の実施 ※いなべの交流会に合わせて	●パッケージづくり(三連南信) 渥美にて打合せ												
	●制作スケジュール打合せ																		
⑤ 補助金や助成金(資金調達)に強くなるための調査・作戦会議・実践			●ESG勉強会 ●四国EPOヒアリング	●ESG勉強会	●ESG勉強会	●ESG勉強会	●ESG勉強会	●ESG勉強会 仮)助成財団サミット	●ESG勉強会 仮)ESG金融セミナー	仮)助成財団サミット	仮)ESG金融セミナー	仮)助成財団サミット	仮)助成財団サミット	仮)助成財団サミット					
事務局 バックオフィス			情報発信	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新	●メールニュース ●HP更新		
			理事会・総会	●理事会		●理事会	●総会		●運営会議		●理事会	●運営会議		●理事会		●理事会		●理事会	

15

3. 運営体制

1. 役員

【代表理事】 萩原恵子

【副代表理事】 岩間誠
鈴木祐之
渡辺幸久

【理事】 5名

【監事】 1名

2. 事務局

【常勤理事】 1名

【職員】 2名

3. 総会

第18回通常総会

【実施日時】 2022年8月4日(木)

【実施場所】 地域の未来・志援センター事務所およびオンライン

【対象者】 当会正会員

【内容】 2021年度事業報告、監査報告、2022年度収支計画 他

4. 理事会

【実施日時】 第1回 2022年7月1日(木) 14:00~16:00

第2回 2022年11月(予定)

第3回 2023年2月(予定)

第4回 2023年5月(予定)

年4回開催予定

【実施場所】 地域の未来・志援センター事務所およびオンライン

5. 運営会議

新規事業の運営等について、事務局が招集し、適宜開催する。